

都道府県名	岡山県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	総社市立総社小学校								
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	3	4	3	4	1	23	31
児童数	122	130	118	124	114	130	3	741	

研究の概要

1. 研究主題

わかる喜びを感じ自信をもって学ぼうとする子の育成 ～個に応じたきめ細かな指導を通して～
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年・算数と国語 (学校として、当該教科に関する研究を進め実績を上げるため)
--

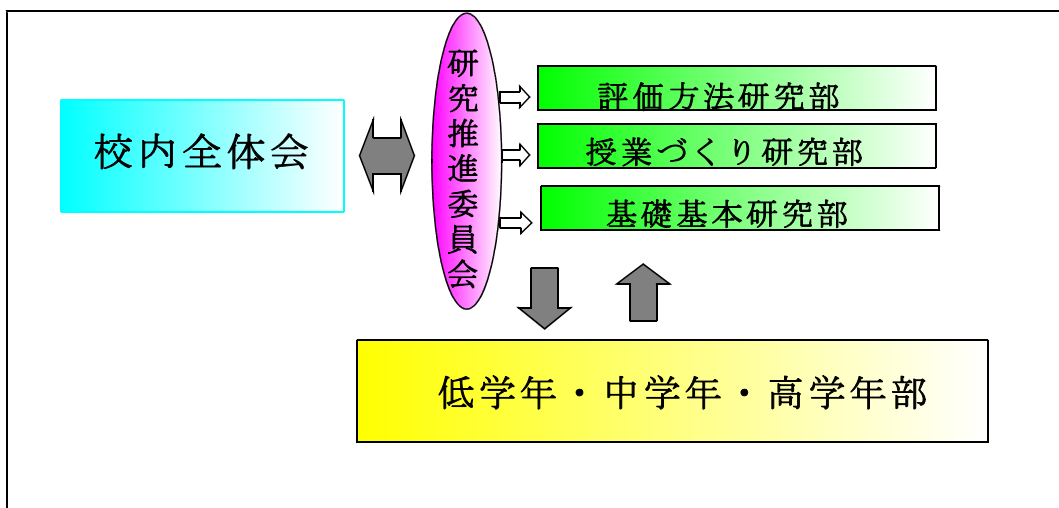
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ わかる喜びを感じ自信をもって学ぼうとする子の育成 ～個に応じたきめ細かな指導を通して～</p> <p>研究の見通し(仮説) 学習過程の中で、個に応じたきめ細かな指導をすることに より、「わかる喜びを感じ、自信をもって学ぼうとする子」が育つのではないかと。</p> <p>研究の内容・方法 ア 評価規準を基に児童の実態にあった単元構成や学習過程を組む。 イ ティームティーチング指導・少人数指導・教科担当制指導など、児童の理解度に対応した個を豊かに伸ばす学習指導を工夫する。 ウ 一人一人の身に付けている学力を把握し、指導に生かすための評価規準と評価方法を研究する。 エ 学習を側面的に支えるドリル学習を定着させる。</p>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ わかる喜びを感じ自信をもって学ぼうとする子の育成 ～個に応じたきめ細かな指導を通して～</p> <p>研究の見通し 学習過程の中で、個に応じたきめ細かな指導をすることに より、「わかる喜びを感じ、自信をもって学ぼうとする子」が育つのではないかと。</p> <p>研究の内容・方法 ア 算数の年間単元構成表を作成し、計画に沿った学習を進め、分かる授業の創造を目指す。また、算数科での学力の捉え方を国語科にも生かす。 イ ティームティーチング指導・少人数指導・習熟度別指導・課題別指導で、児童の理解度に対応した個を豊かに伸ばす学習指導を工夫する。 ウ 一人一人の身に付けている学力を把握し、指導に生かすための評価の多様性と妥当性を研究する。 エ 学習を側面的に支えるドリル学習を定着させる。</p>
--------	--

平成16年度	<p>テーマ わかる喜びを感じ自信をもって学ぼうとする子の育成 ～個に応じたきめ細かな指導を通して～</p> <p>研究の見通し 学習過程の中で、個に応じたきめ細かな指導をすることにより、「わかる喜びを感じ、自信をもって学ぼうとする子」が育つのではないかと見通す。</p> <p>研究の内容・方法 ア 算数、国語の取組の中から、総合的な学習との関連を研究する。 イ ティームティーチング指導・少人数指導・習熟度別指導・課題別指導 ウ 教科担当制で、児童の理解度に対応した個を豊かに伸ばす学習指導を工夫する。 エ 一人一人の身に付けている学力を把握し、指導に生かすための評価の多様性と妥当性を研究する。 オ 学習を側面的に支えるドリル学習を定着させる。</p>
--------	---

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・ 児童の実態に合った単元構成や学習過程を組み、自己選択による習熟度別学習などの指導方法と関連させることで、今まで以上に興味・関心をもって学習に取り組むことができた。
- ・ 指導の形態（ティームティーチング指導・少人数指導）と指導の方法（習熟度別学習・課題別学習など）を工夫することで、教師の協力等により個に応じたきめ細かな指導ができるようになってきた。
- ・ 評価規準をもとに具体的な姿としてB基準を設定することで、B基準を達成するための指導形態・指導方法の工夫、補充的な学習への支援がしやすくなった。また、算数科年間単元構成表を基にA規準の具体的な子ども像を明確にすることにより、発展的な学習の見通しもしやすくなった。
- ・ 学習を側面的に支えるドリル学習などの基礎学力の定着を図る朝学習プリントの工夫をすることで、楽しみながら漢字の習得や計算力のアップを図ることができている。また、朝読書による集中力のアップや自主的な学習習慣確立への効果も見られてきている。

2. 今後の課題

- ・ 多様な指導体制・指導方法を工夫するためには、指導者の確保が必要になってくる。
- ・ 課題別・習熟度別学習では、各コースのねらいをはっきりさせ、「いつ、何を、どこで、どのように」指導していくかが明確になった授業の工夫をより一層考えていきたい。
- ・ 年間単元構成表を基に重点項目を絞って、重点的に評価を試みたそれでも学習時間内での評価ができにくかったため、今後、どのように児童の学習状況を見取っていくか、指導に生かしていくかの計画性を考えていきたい。
- ・ 基礎学力としてのドリル学習は、単調になり意欲を持続するのが難しいので、児童が興味をもって意欲的に学習できる読み・書き・計算の学習プリントの工夫を今後も図りたい。

学力等把握のための学校としての取組

今年度は、学力調査の実施はしていない。
今後、学力検査の実施を検討。
算数アンケート調査、百マス計算実施（比較検討）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 研究会の開催日（開催済み）
日時 平成15年11月7日（金）
場所 総社市立総社小学校
テーマ わかる喜びを感じ自信をもって学ぼうとする子の育成
～個に応じたきめ細かな指導を通して～
対象 総社市内小学校・倉敷教育事務所管内小学校
- ・ HP作成 アドレス (<http://www.soja-es.soja.ed.jp/~jidou/index.html>)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無